

第3回 草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会

(1) 平成29年度総合戦略の指標および重要業績評価指標の実績値の報告

・・・資料1

【概要】

平成28年3月に策定した「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、3つの戦略目標と7つの戦略プロジェクト(参考資料3、P8)を定めており、それぞれに目標となる指標やKPI(重要業績評価指標)を設定し、この指標等の達成に向けた事業(H29 約98.7億円、99事業)を実施しています。

総合戦略は実質的には平成28年度からスタートし、平成29年度は2年目となりますが、現時点としては、その成果が現れたとは言えない状況であり、引き続き目標達成に向けた取組を進めていきます。

【平成29年度実績値の結果】

◆ 戦略目標

- 目標値(H31)を達成している指標 (2-2)
- H28より上昇した指標 (1)(2-2)
- H28より下降した指標 (2-1)(3)
- 現状値(H26)より上昇した指標 (2-2)
- 現状値(H26)より下降した指標 (1)(2-1)(3)

※(2)の指標のうち「まちに誇れるもの(ブランド)があると思う市民の割合」を(2-1)、

「JR草津駅・南草津駅乗車人員(年度間1日平均)」を(2-2)としています。

◆ 戦略プロジェクト

- 目標値(H31)を達成している指標 ⑤
- H28より上昇した指標 ①③④⑤
- H28より下降した指標 ②⑥
- 現状値(H26)より上昇した指標 ①⑤
- 現状値(H26)より下降した指標 ②③⑥

※⑦の指標「健康寿命(平均自立期間)」は1月末頃に実績値が確定予定

## (2) 平成29年度地方創生関連交付金事業の効果検証

・・・資料2-1、2-2

### 【概要】

平成29年度に交付を受けた地方創生推進交付金と地方創生拠点整備交付金の対象事業について、事務局として「事業効果(※1)」と「今後の方針(※2)」としてまとめましたので、これらを踏まえて、草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会において、「事業の評価(※3)」の検証をお願いするものです。

「事業効果」や「今後の方針」の基準は、下段(※1、※2、※3)のとおり国から示されています。

### 地方創生推進交付金

【事業名】 1. 「健幸都市くさつ」実現プロジェクト

【事業効果】 「地方創生に効果があった」

(理由) 事業開始初年度ということもあり、目標値を達成できたKPIは(3)のみであるが、新たな試みを行うなど、市内外に向けて「健幸都市くさつ」を発信し、また、健幸都市宣言賛同企業・団体数のKPIが目標値を達成できたため

【今後の方針】 「事業の発展」

(理由) 当プロジェクトの重要なKPIである(2)が現状値より下降しており、目標達成に向けて平成30年度は新規事業も実施するため

【事業名】 2. ビワイチ推進プロジェクト

【事業効果】 「地方創生に非常に効果的であった」

(理由) 県全体のKPIではあるが、全ての項目で目標を達成したため

【今後の方針】 「事業の発展」

(理由) より発展させるため、平成30年度は新規事業も実施するため

### 地方創生拠点整備交付金

【事業名】 1. 常盤学区における地方創生拠点整備プロジェクト

【事業効果】 「地方創生に非常に効果的であった」

(理由) KPIを算出できる2項目で目標を達成し、常盤学区の地方創生の拠点となる農業振興スペース等を整備したため

【今後の方針】 「事業の発展」

(理由) 整備した農業振興スペースを、より有効に活用して地域の発展に寄与するため

(3) 平成30年度地方創生推進交付金事業の報告【重要報告】 . . . 資料3

平成30年度は、昨年度に交付を受けた地方創生推進交付金事業を引き続き実施します。

なお、平成30年度に実施する事業の評価は、平成31年度に、(2)と同様に草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会において「事業の評価」を検証いただきます。

地方創生推進交付金

【事業名】 1. 「健幸都市くさつ」実現プロジェクト

【事業名】 2. ビワイチ推進プロジェクト